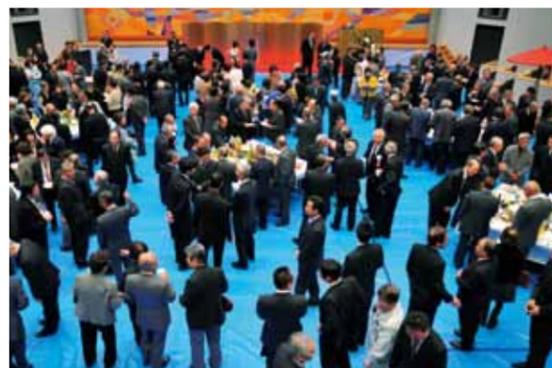
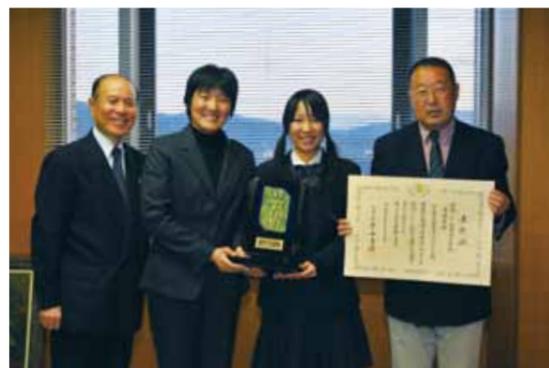


▼ 1月4日  
新年を祝って



平成 23 年新春年賀のつどいは、松前総合文化センターで開催され、町民や来賓など約 330 人が出席しました。年頭のあいさつで白石勝也町長は 99 歳の柴田トヨさんの詩集「くじけないで」を紹介し、「時代の閉塞感に将来に不安を抱く人もいるかもしれないが、どうかくじけないで。明るく未来への飛躍の年にしましょう」と呼び掛けました。その後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。

▼ 12月24日  
伊予農が総務大臣表彰受賞を報告



伊予農業高等学校の生徒らで構成する「伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム」は、地域づくり総務大臣表彰（団体表彰）を受賞しました。受賞は、平成 16 年から塩屋海岸に生息する絶滅危惧種の保全に着目し、学術研究、環境整備などのボランティア活動、環境教育を実施するなど、チームが行ってきた地道な活動が評価されたものです。

▼ 12月19日  
ジュニアボクシング教室



ジュニアボクシング教室は、小中学生を対象に松前公園体育館で開催されました。これは平成 29 年愛媛国体で本町がボクシング競技の開催地であることから国体開催市町スポーツ振興事業として行われたもので、松山工業、新田、松山聖陵高校のボクシング部員が協力しました。兄弟で参加した松前小学校の青井志晃君と清斗君は「ボクシングは初めてだったけどお兄さんたちが教えてくれて楽しかった」と話していました。

▼ 12月10日  
高齢者の交通事故をなくそう



毎月 10 日の高齢者の交通安全の日に合わせ、伊予警察署、伊予交通安全協会と町は 12 月 10 日、エミフル M A S A K I 駐輪場で、自転車を利用する高齢者に反射材などを配布しました。指導員さんたちは直接、反射材や自転車用のタイヤライトを取り付け、「自転車の正しい乗り方」のパンフレットを配布。自転車を利用する高齢者に交通安全を呼び掛けました。

▼ 1月4日～10日  
19年ぶりに貴重な書物を展示



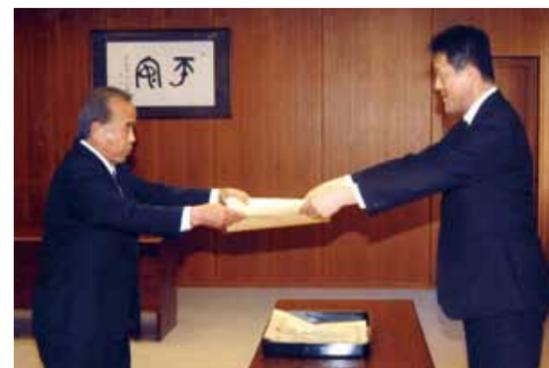
松前町所蔵展は、松前総合文化センターのふれあい展示室で開催され、松前町出身の故白石春樹氏（元愛媛県知事）より寄贈された貴重な書、漢詩や町所有の民具を展示しました。夏目漱石や正岡子規など明治の有名な歌人や政治家などの書画を目にすることができる貴重な機会ということで、期間中は町内外から大勢の見物客が訪れました。

▼ 12月24日  
青パト隊年末パトロール



犯罪や交通事故の増加が懸念される年末年始を控え、町内で活躍する青パト隊は 12 月 24 日、特別警戒活動をスタートしました。「青パト隊年末パトロール出発式」には、警察官や日頃から町内で活躍している青パト隊員が参加。出発式後、青パト隊員らはさっそく車に乗り込み、パトカーの先導で町内の一斉パトロールに出発しました。

▼ 12月20日  
町が暴力追放功労団体表彰を受賞



松前町は、四国管区警察局長・四国暴追センター連絡協議会長連名の「平成 22 年度暴力追放功労団体表彰」を受賞しました。これは、町が平素から行っている暴力団排除活動が認められたものです。愛媛県警察本部で行われた表彰伝達式には、栗田哲志副町長が列席し、県警察本部長より表彰状を受け取りました。

▼ 12月16日  
災害に備え、知識や技術を学ぶ



教職員と 6 年生を対象とした「手つなぎ防災ひろば」は、松前町日赤奉仕団が中心となり、青少年赤十字加盟校である岡田小学校で開催されました。参加者たちは、非常食作りや防災講座を通じて、災害に対する普段からの心構えや、応急手当方法を学び、講義後は、非常食として作ったカレーを食べながら交流を深めていました。